

作成日：2025年10月15日

当院にて円錐角膜の検査・診療を受けられた患者様へ

臨床研究課題名：

円錐角膜症例における角膜高の予測式の構築：角膜曲率半径、角膜乱視、前房深度を用いた検討

この研究の目的

円錐角膜の治療（強膜レンズ選択など）に重要な「角膜高」を、日常的な検査（角膜曲率半径、乱視、前房深度）から予測する計算式を作成し、検査機器が限られた環境でも適切な診療を行えるようにすることを目的としています。

この研究の方法

過去の診療データ（電子カルテ、検査結果）を用いた観察研究です。データは個人が特定されないようコード化した上で解析します。

使用する診療情報

- ・年齢、性別、角膜曲率半径、角膜乱視、前房深度、角膜高の測定データ

相談窓口・拒否の申し出

ご自身のデータを使用されたくない場合は、2026年8月31日までに下記までご連絡ください。協力されない場合でも不利益を被ることはありません。

連絡先：小沢眼科内科病院 視能訓練部 高橋慎也

電話：029-246-2111